

公開シンポジウム

「図工・美術教育の明日を担うために」

申込不要・参加無料

2月8日 悪天候のため順延されました

2014年3月21日 [春分の日]

13:00~17:00 (受付は12:30から)

教育学部 C棟 204 教室
(群馬大学荒牧キャンパス)

■イベントスケジュール

- 13:00- 開会 (研修院説明)
- 13:15-14:15 講演① 宮内 愛氏
「毎日聴こえる子どもの声、11年目の図工室」
- 14:25-15:25 講演② 布山 タルト氏
「映像工作—アニメーションで遊ぶ」
- 休憩 (15分) -
- 15:40-16:40 パネルディスカッション
「これからの図工・美術科教員の新しい研修のかたちを考える」
[コーディネーター] 茂木一司 (群馬大学教授・美術教育)
+ 講師 2名ほか

「長期研修院」とは現職学校教員などに群馬大学の施設・設備・教員を活用してもらい、図工・美術の指導力・授業力を高めてもらうための研修制度です。昨年度から、理科教育講座で「理科教育長期研修院」が始まっており、本年4月から美術教育講座においても同様の研修制度をはじめることとなりました。図工・美術教育について考えたい、制作や研究をしたい、という教育関係のみなさん、研修制度をぜひご利用ください。

今回「美術教育長期研修院」開設にあたり、シンポジウムを開催いたします。

シンポジウムでは、図工・美術教育において先進的な取り組みをされている2名の講師をお招きし、講演・パネルディスカッションの場を設けることにいたしました。

子ども、そして社会の未来を図工・美術教育から考える場にぜひご参加ください。

研修院への参加とは関係なく本シンポジウムはどなたでも参加していただけます

招待講師紹介

宮内 愛 (みやうち あい)

東京都立小学校図画工作専科教諭
1976年愛媛県生まれ。
東京学芸大学美術科卒業。同大学大学院修了。
社会人経験を経て現職。
図工室での実践を通して「遊びと図工と子どもと大人」の関係を模索中。
愛猫家。



布山 タルト (ふやま たると)

東京藝術大学大学院映像研究科准教授
1973年生まれ。
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。修士(政策・メディア)。
情報科学芸術大学院大学(IAMAS)講師等を経て、2011年より現職。90年代から主にCGによるアニメーション作品を制作。2003年からアニメーションのワークショップを国内外で多数開催するとともに、コマ撮りソフト『KOMA KOMA』の開発を進めている。

